

# ミクリ

*Sparganium erectum* L.

## ミクリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

### 選定理由

従来、普通の植物であったが、減少して近年は産地、個体数とも著しく限られるようになった。最近、減少の度合いが緩やかになってきた。(現況:V2-)

### 形態

日本には概ね10種のミクリ属植物が分布し、うち5種が石川県に分布してそのすべてが絶滅危惧植物である。それらは互いに類似種で、花序の比較なしには、判別は困難な場合が多い。ここでは典型的な標本が得られた場合を想定して記述する。本種は日本のミクリ属で最も大型の種で、花序の枝が3本以上であれば本種であるとされる。雌花の花柱の片側にかたよって着く柱頭が糸状で、長さ3~6mmに達することが、本種の特徴である。葉の幅は8~15mm。

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州に分布。北半球に広く分布し、オーストラリアにもあるらしい。

### 県内分布

かつては全県下の池沼に広く分布したが著しく減少した。近年の調査では一応27産地の報告があり、能登の外浦区・内浦区・中能登区、口能登区・加賀中央区、南加賀区の分布が確認された。

### 生態など

群生する多年生抽水植物。花期は6~8月。

### 生育環境

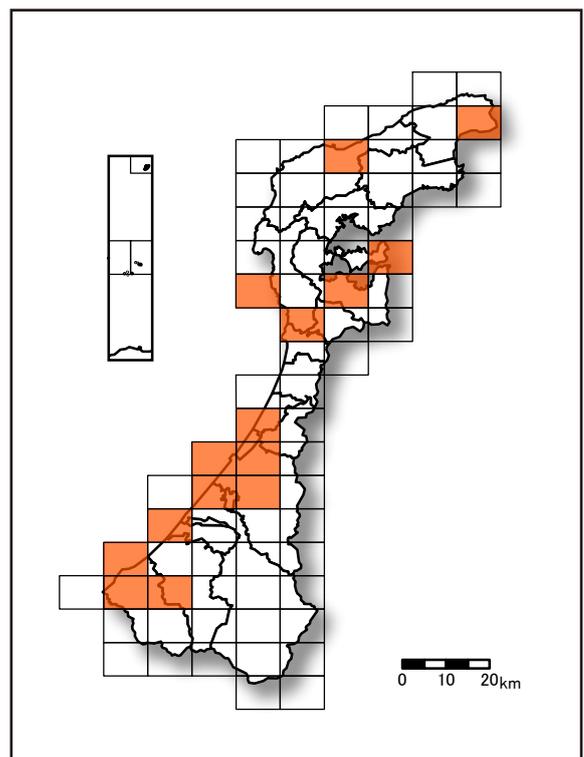
河川、池沼、水路などの水辺。

### 危険要因

河川開発、池沼開発、湿地開発、土地造成、道路工事、水質汚濁、自然遷移、その他(溝の浚渫)。



林 二良・2008年9月20日・内浦



県内の分布